

平成30年度第4回江別市廃棄物減量等推進審議会議事録

日 時	平成31年1月23日(水) 14時00分～15時20分
場 所	江別市民会館 2階 21号室
出席委員	押谷会長、内海副会長、五十嵐委員、河瀬委員、神保委員、津嶋委員、中井委員、難波委員、林倉委員、樋口委員、(10名)
欠席委員	浅川委員、八戸委員、星委員(3名)
事務局	高橋生活環境部長、白崎環境室長、 阿部廃棄物対策課長、西島施設管理課長、松崎施設管理課主幹、江田施設係長、和田庶務係長、渡邊指導係主任、中村減量推進係長、高橋減量推進係主事、山脇減量推進係主事(11名)
傍聴者	2名
会議次第	・委嘱状交付 1. 開会 2. 会長挨拶 3. 議事(議題) (1) 報告事項 ・江別市災害廃棄物処理計画パブリックコメント結果について ・平成30年度ごみ排出状況について 4. その他 5. 閉会
配布資料	・資料1 災害廃棄物処理計画(案)のパブリックコメント結果について ・資料2 平成30年度ごみ排出状況について ・参 考 江別市災害廃棄物処理計画(案)

▼会議内容

【委嘱状交付】

○阿部廃棄物対策課長

皆様、本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。事務局の廃棄物対策課長の阿部でございます。どうぞよろしく願いいたします。

この度、江別青年会議所の和田友弘様が江別市廃棄物減量等推進審議会委員を辞退されたことに伴い、同じく江別青年会議所の難波淳様に委員をお引き受けいただきましたので、委嘱状を交付させていただきます。

生活環境部長が難波様の席に伺いますので、よろしく願いいたします。

(委嘱状交付)

【開会】

○阿部廃棄物対策課長

それでは、審議会の開会に先立ちまして、生活環境部長の高橋よりご挨拶申し上げます。

○高橋生活環境部長

廃棄物減量等推進審議会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

委員の皆様におかれましては、ご多忙中にも関わらず、ご出席いただき誠にありがとうございます。

さて、昨年は、9月の台風21号に伴う強風と翌日未明の北海道胆振東部地震により、江別市内においても被害が発生したところであります。

また、今週の月曜日、1月21日は、朝からの暴風雪により、市内の道路状態が非常に悪くなり、交通状態が麻痺する状況になりました。

私たちの担当業務であるごみ収集においても、収集車が細い道に入ることができず、約4割のごみが収集できない状況となったため、翌日から順次収集を行い、本日中にどうにか終わることができる見込みでございます。

あらためて、日常生活の中で、当たり前に行われているごみ収集と自然災害の関わりについて強く認識しているところでございます。

さて、今年度は、災害廃棄物処理計画の策定に向けてご審議いただいております。本日は、昨年末に行ったパブリックコメントの結果を中心にご報告いたします。この後、担当よりご説明いたしますので、皆様には、多くのご意見をいただきたく存じます。

最後になりますが、委員の皆様の任期は、本年6月までとなっております。任期中に開催される審議会は本日が最後の予定でございますが、皆様方には、今後とも本市の清掃行政にご意見を頂戴しながら、取り組みを進めて参りたいと思っております。

簡単ではございますが、私からの開催に当たってのご挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

#### ○阿部廃棄物対策課長

次に、本日の審議会について、星委員より、所用により欠席されるというご連絡をいただいております。

本日は、全委員13名中、10名の委員のご出席をいただいております。過半数を超えておりますことから、本会議が成立しておりますことをご報告いたします。

次に、議事に入る前に、廃棄物減量等推進審議会の公開についてご説明いたします。

市では、江別市情報公開条例第18条の規定により、市民の市政への参画を促進するとともに、公正で透明な市政を推進するため、審議会等は支障のない限り公開を原則としており、この審議会におきましても傍聴を認めております。また、会議の議事概要として、発言内容を発言者の氏名とともに、後日市のホームページ等で公開いたしますので、あらかじめご了承いただきたいと思います。

本日は、2名の傍聴希望者が待機しております。入室いただいて、これ以降の議事を傍聴いただこうと考えておりますが、よろしいでしょうか。

(各委員了承)

#### ○阿部廃棄物対策課長

それでは、傍聴者の方に入室させていただきます。

(傍聴者入室)

#### ○阿部廃棄物対策課長

それでは、ただいまより、「平成30年度第4回江別市廃棄物減量等推進審議会」を開会いたします。

はじめに、押谷会長よりご挨拶をいただきまして、以降の議事進行を会長にお願いいたします。

## 【議事】

### ○押谷会長

皆様、あらためましてこんにちは。

遅ればせながら、新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いたします。

廃棄物を取り巻く色々な課題がある中で、災害廃棄物の対策を進めようとしていた矢先に、昨年の9月に台風及び地震の被害が出てしまいましたが、江別市においては、道内でもかなり早い時期に計画の策定に向けて取り組めたと思います。

本日は、まとめとして、計画について最終的なご議論をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

議事に入る前に、本日、江別市廃棄物減量等推進審議会委員を委嘱された難波委員より一言ご挨拶をいただきたいと思います。

### ○難波委員

江別青年会議所の難波淳と申します。

私は、普段はごみの収集運搬の仕事をしております。そのため、ごみのことについては少し詳しいと思いますが、あくまで、江別青年会議所の代表として委嘱されておりますので、現場の意見ではなく、江別市民の方々のお役に立てるような意見を出させていただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

### ○押谷会長

続きまして、委嘱後、初めてご出席される河瀬委員に一言頂戴したいと思います。

### ○河瀬委員

江別市消費者協会の河瀬めぐみと申します。

本日は、今期、最初で最後の出席となってしまいましたがよろしくお願いいたします。

### ○押谷会長

ありがとうございました。

それでは、議事に入らせていただきます。本日は報告事項が2点あります。

まず、1点目の「江別市災害廃棄物処理計画（案）のパブリックコメント結果」について、事務局よりご報告をお願いいたします。

## （1）報告事項

### ①江別市災害廃棄物処理計画（案）のパブリックコメント結果について

### ○中村減量推進係長

廃棄物対策課の中村です。私からは、「江別市災害廃棄物処理計画案のパブリックコメント結果」についてご説明いたします。資料1をご覧ください。

パブリックコメントは、昨年11月20日～12月20日まで行い、1名の方から1件のご意見がございました。

初めに、表左側の意見についてであります。内容といたしましては「札幌その他の地方の地域で見てきたことを参考にすると、江別市はごみの分別や廃棄などに対しての問題意識が、如実に現れている自治体であると感じる。徹底した市の方針が功を奏しているのではないか。町内では、ごみの不法投棄が見られない。これからも、市内の自治会や町内会への指導の徹底を期待している。」とのことであります。

次に、右側の市の考え方についてであります。内容といたしましては「市では、ごみ出しルールの徹底を図るため、収集日カレンダーなどの全世帯への配布、スマートフォン等で地域の収集日や分別が検索できるごみ出しアプリの公開、市内4大学の新生ガイダンスにおけるごみ出しルールに関する説明会の開催、また、不法投棄対策として、のぼりや看板等の設置など、ポイ捨て等の防止に向けた取り組みを行っており、今後も、自治会や市民、事業者とともに、住みよい、きれいな街づくりに努める。」としております。

なお、表右端の計画への意見の反映状況については、「E」のその他の意見とさせていただきます。

説明は以上であります。

○押谷会長

ただいまご説明いただいたとおり、災害廃棄物処理計画に関する意見は寄せられていないようですが、様々な取り組みを評価する意見をいただきました。

これについては、市の考え方をホームページ等で公開されるということでしょうか。

○白崎環境室長

今後、議会報告等の手続きを踏まえ、市のホームページで公開させていただきます。

○押谷会長

寄せられた意見には、回答することが必要であると思っておりますのでよろしくお願いいたします。

パブリックコメントについてご説明がございましたが、本日の審議会において問題がなければ、計画案を審議会として承認することになります。計画に対して、ご意見やご質問をいただくことは、最後の機会となりますのでよろしくお願いいたします。

○中井委員

本計画に対するパブリックコメントについて、1件も寄せられないのではないかと懸念を抱いておりましたので、直接は計画に関係なくとも、関心を持って意見を出してくれた方がいたことは重要なことだと思います。

特に、この時期は、他の部署のパブリックコメントも多く行われています。多数のパブリックコメントが行われている中、意見を寄せてくれる人がいたことに感心しました。

また、以前の審議会で、パブリックコメントを行う際は、積極的に宣伝する必要があるという意見を出させていただきました。その点についても、災害廃棄物処理計画については、相応にアピールできていたように思います。

○押谷会長

災害は私たちの身近なものになっていますので、災害廃棄物処理計画を策定した段階で、広く皆さんに見ていただけるように公表することが必要かと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

他に何かご意見、ご質問等はございますか。

○神保委員

前回の審議会では、災害により発生した倒木について、処理は検討中とお伺いしましたが、その後、新聞で市内の事業者が資源として買い取ってもらったという記事を読みました。新聞では、どのような流れで処理されたのかがわからなかったため、江別市で廃棄物として受け入れた倒木もあるのかを含めてお伺いします。

○高橋生活環境部長

平成30年9月5日に発生した台風21号により、街路樹や公共施設の樹木など、市が管理するものでは、全体で約2,700本の倒木が発生しました。

発生した倒木について、まず、各部署で危険な場所から移動させ、その後、冬期は雪捨て場として利用している大麻の市有地に集めるということで対応を進めました。

集めた後、この倒木をどうするか協議を進める中で、燃料として買い上げが可能な企業が市内に1社ありまして、ほとんどの倒木が有効利用されたというところでございます。

その他、市で管理している樹木以外も多数倒れている状況であり、それについては、それぞれの管理者、所有者で対応している状況でございます。

○神保委員

市が管理している倒木以外は、廃棄物として市の焼却施設に入っているのでしょうか。それとも、有効利用されているのでしょうか。

○高橋生活環境部長

環境クリーンセンターでは、大きな樹木は処理できないため、受け入れていません。

市内では、角山開発株式会社が樹木のチップ化を行っており、大きな樹木も受け入れ可能なため、個々で処理する場合の多くは角山開発に搬入されています。

単純に燃やしてしまうということではありません。

○神保委員

個人や事業者の方から市に相談があった場合に、角山開発へ橋渡しを行っているのですか。それとも、個々で角山開発に依頼して処理しているのですか。

○中村減量推進係長

基本的には個々で依頼していますが、環境クリーンセンターへ搬入したいと市にご相談の電話があった場合は、長さや太さによって処理できないものもあるため、処理できないものは角山開発に搬入していただくようお願いしております。

なお、処理料金は市と同じく、10kgあたり110円ですが、民間企業ですので消費税がかかります。

○神保委員

個人でも難なく処理を終えているようで安心しました。

当時、屋根に樹木が倒れてきたという方がいらっしやって、相談を受けたことがあるのですが、それはどのように処理されたのでしょうか。

○中村減量推進係長

廃棄物対策課には、倒木により家屋が被害を受けたという相談はありませんでした。

屋根に樹木が倒れてきたという件については、家屋被害等の関係であるため、危機対策室で対応しています。

なお、当時、廃棄物対策課として対応させていただいたこととしましては、家の敷地に枝木が飛んできた場合は、公共ごみとして出してくださいというご案内をさせていただきました。

○押谷会長

廃棄物といっても様々な部門が関わってきますが、廃棄物対策課の所管においては適正に処理されているかと思えます。

他に何かございますか。

○中井委員

災害廃棄物処理計画について、大変良く出来上がっていると感じています。

特に、私としては、事務局でパブリックコメントとして配布する案を作成するにあたり、修正等の意見を委員に募集した際には、広く意見を取り入れていただいて、非常に満足しています。

あらためて、審議員として、意識を持って沢山の意見を出すべきだと感じている次第でございます。

内容について、異議はありません。

○難波委員

審議会で話し合う内容として適切であるかはわかりかねますが、災害時の廃棄物処理について、江別市と物流センターで協定を結ばれているとお聞きしました。

内容としては、食料品が市内のスーパー等から無くなったとき、物流センターで新たに食料品を仕入れようとしても、物流センターで廃棄が必要なものと受け入れができないため、物流センターのごみを早急に処理するというものです。

昨年の震災時、私も実際に物流センターの廃棄物処理に関わりました。その時に、おにぎりやバナナなどの支援物資が入ってきている中、まだ食べられる物をごみとして大量に処分しました。賞味期限が、1ヶ月や半年あるにも関わらず、停電により温度管理できなかったために、売ることができず、捨てることになってしまったものです。

恐らく、物流センターではなく、あくまで大手スーパー等の所有物だと思いますので、物流センターが有効利用のためにどうにかできる話ではないかもしれませんが、それをごみにしない方法は何かないのかと疑問に思いました。

廃棄される食料品を、支援物資として利用するにしても、それが余ってしまった場合の問題もありますし、現実的には難しいのかもしれませんが、この食料品を有効利用できれば、ごみの減量になるのではないかと思います、意見を出させていただきました。

○押谷会長

民間事業者間での取り組みになるとは思いますが、市の方でお考えがあれば伺いたいと思います。

○中村減量推進係長

まず、市と物流業者との間で、ごみを優先させて処理をするという協定は結んでおりません。

支援物資を供給する協定、仮設トイレを貸与する協定、避難所に食糧や応急物資を運搬する協定等は個別事業者と結んでおりますが、廃棄物部門として協定を結んでいるのは、江別リサイクル事業協同組合との「災害時における廃棄物収集運搬の協力に関する協定」と、札幌圏7市町村間で結んでいる「札幌圏震災等廃棄物処理に係る相互支援協定」に留まっております。

廃棄される食料品の有効利用ということになると、各事業者の考えもあるため、廃棄物部門としてできることは限られますが、昨年10月に、市内に民間の堆肥化施設が建設され、一般廃棄物処分量の許可も付与していますことから、そのような施設も活用しながら、焼却するものを減らせるよう、検討したいと思います。

○押谷会長

ぜひ、難波委員の勤め先でもご検討いただきまして、様々なかたちで減量の取り組みを進めることができればと思います。

特に、今は食品ロスが社会問題となっていますので、災害時の緊急対応も含めて、食料品を無

駄にしないような仕組みが必要だと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

他に何かございますか。

#### ○林倉委員

災害廃棄物処理計画について審議を行う中で、発災時の広報活動及び発災前の市民の方々への啓発活動が重要ではないかというお話を何度かさせていただいております。

広報及び啓発活動について、計画には第4章の2ページ分しか記載されていませんが、あくまで処理計画ですので、災害により発生した廃棄物をどのように処理するかが計画の主旨であることは理解しています。

しかし、先日の吹雪の際、あらためて、どれだけ市民の方々に広報活動が行えるかが課題であると実感しました。

吹雪があった当日、市のホームページには、「豊幌地区は収集できません」という内容が更新されておりました。ですが、実際には他の地区においても、雪により入ることができない場所や、入れたとしても収集車が埋まる恐れがある場所など、収集を断念せざるを得ないごみステーションが多数ありまして、全体の4割程度が収集できない状況でした。

またそのような状況になったとき、朝の内に、収集が困難なため、ごみの排出をしないでいただけるよう広報を行うことは可能なのでしょうか。

前回もお話ししたと思うのですが、もし冬期間に大地震が発生し、市民の方々が家財道具を外に出してしまうと、除雪も収集も行うことができず、大変なことになることが予想されます。

そのため、冬期間については特殊な対応が求められますので、あらかじめ規則等を定めておく必要があるのではないかと思います。

災害廃棄物処理計画の内容はこれで問題ないと思いますが、ぜひ、災害時のごみ出しの規則等について、市民の方々にも事前の広報活動や啓発活動を行っていただきたいと思っております。

#### ○押谷会長

その点は、事務局にご留意いただき、ごみコミえべつやホームページ等で啓発活動に徹していただきたいと思っております。

#### ○林倉委員

先程、話題に挙がっていた災害時の食品廃棄物についてですが、物流センターから排出されたもので最も多かったのは冷蔵冷凍食品です。

食料品の廃棄は、排出事業者にとっても、経費が掛かっていることですし、非常にもったいないことです。

しかし、昨今では、食の安全性の観点から、事業者もHACCP（Hazard Analysis Critical Control Point）などの衛生管理の認証を受けており、「適正な温度から何度ずれて、何時間経過したものは流通させられない」という規則が決まっている関係上、廃棄せざるを得ませんでした。

今回の場合、あれほど停電が長引いて、温度管理できない状況が長時間続くということ、物流業者も、私たちも想定できなかったために、冷蔵冷凍食品が大量に廃棄されたということは事実です。ですが、それについては、この経験を踏まえて、各事業者でバックアップ電源などがより強化されることになると思っておりますので、次回以降は廃棄される量が減ることになると思っております。

#### ○押谷会長

他に何かございますか。

それでは、江別市災害廃棄物処理計画については、本審議会ではこの内容で承認するというところでよろしいですか。

(各委員了承)

それでは、続いて、2点目の「平成30年度ごみ排出状況」について、事務局からご報告をお願いいたします。

## ②平成30年度ごみ排出状況について

### ○中村減量推進係長

「平成30年度ごみ排出状況について」ご説明いたします。資料2をご覧ください。

はじめに、1の家庭系ごみの排出量についてであります。平成30年度は、5月から8月まで、平年並みに推移していましたが、9月から11月は、増加に転じております。

増加の要因といたしましては、9月の台風に伴う落葉等の排出や地震に伴う停電により家庭からの食品の廃棄によるものが原因と考えております。

また、平成30年度の家庭系ごみ排出量は、22,470tとなる見込みで、概ね平年並みと考えております。

次に、2の事業系ごみの排出量についてであります。平成30年度は、年度当初から昨年度の排出量を上回っている状況であり、特に9月から12月が増加しております。

増加の要因といたしましては、市内に新たに大型の商業施設が立地したほか、9月の地震に伴う停電により発生した店舗からの食品廃棄のほか、市が実施した災害廃棄物処理事業による全壊家屋の公費解体によるものと考えております。

また、平成30年度の事業系ごみ排出量は、10,986tとなる見込みで、平年を上回るものと考えております。

今後は、昨年11月から稼働している民間堆肥化施設での事業系食品残渣の資源化の取り組みが重要になると考えております。

次に、3のごみ排出量の推移は、グラフのとおりとなっております。

最後に、参考として、集団資源回収量を含めたごみ排出量の推計となります。平成30年度は集団資源回収の対象月が9ヵ月分なので、見かけ上のごみ量が減少することになります。

説明は以上であります。

### ○押谷会長

ただいまのご報告によりますと、災害等の関係もあり、ごみ量が若干増えていますが、何かご質問はありますでしょうか。

ごみの排出量は、様々な要因により増加するものと思いますが、ごみが増えたことについて、処理場で何か問題点はありますか。

### ○中村減量推進係長

現時点では、ごみが増えたことによるクリーンセンターへの影響はございません。

### ○中井委員

先程から話題に挙がっておりました食品ロスの問題について、廃棄物対策課が、チラシを自治会回覧として配付してありまして、内容についても大変良いと思えました。効果については、これから徐々に出るものと思います。

また、消費者協会のイベントにおいても廃棄物対策課が出展しており、食品ロス削減に向けて啓発を行ってありました。

現在、食品ロスは全国的に重要な問題となっています。

先日も、環境省と農水省が主催のシンポジウムに出席しましたが、大変な問題であることを再認識しました。

江別市においても、更に市民の関心を喚起するために、積極的に啓発活動を進めていただきたいと思います。

#### ○押谷会長

市民の方々が排出する食品系廃棄物を減量するには、様々な取り組みが必要であるため、市では啓発を進めていますが、どうしてもゼロにすることはできないと思います。ですので、どうしても出てしまう部分については、先ほどからご説明のありますとおり、堆肥化施設が稼働しておりますので、そちらも活用しながら有効利用を進めていただくことになるかと思えます。

この点については、色々な検討が必要かと思えますが、昨年の震災により発生した災害廃棄物については、冷蔵冷凍食品が大量に廃棄されているということでしたので、何か対応が求められるかと思えます。

#### ○中井委員

市の取り組みについて、強いて言えば、自治会回覧で配布した食品ロスのチラシを、本日も参考資料として配付していただくとより良かったと思います。

#### ○押谷会長

食品ロスや食品廃棄物の対策については、日本あるいは世界で大きな課題となっていますので、ぜひ、皆さんにも情報収集していただきたいと思います。

本日はチラシを用意されていませんが、公共施設等にも配架されているようですので、委員の皆さんには見ていただけましたら幸いです。

#### ○林倉委員

事業系ごみ排出量の推移について、こちららいつも審議会でお話しさせていただいているのですが、この数字を見ると、また増えているのではないかと指摘されると思います。

ですが、いつも申し上げており、家庭系ごみは人口割で単純に増減を出すことができますが、事業系ごみについては、江別市における経済活動の規模がどの程度大きくなっているかを加味しなければなりません。

江別市の状況としては、好調なことに、大型商業施設等の新設が続いており、そのことがごみの排出量に影響しています。

また、9月の震災による食品の大量廃棄が排出量に大きく影響しており、決して各事業者がごみの減量化に努力していないということではありませんので、民間事業者としては、あくまでその点を踏まえて総合的に判断していただきたいと思います切実に思っております。

もう1点、最近、皆さんも目にすることが多いと思いますが、昨年、中国が廃プラスチック等の輸入を禁止しています。そのため、廃プラスチック等は、今度は東南アジアを中心に回っていますが、問題が起きており、中々上手くいっていない状況です。

この中国の禁輸は、私たちにも影響しています。

例えば、ペットボトルは、家庭から排出されたものは市の資源物収集で集められていますが、事業所から排出されるペットボトルは、事業系一般廃棄物として収集運搬業者が個別に収集しています。

当社では、今まで、事業所から排出されるペットボトルについて、有価物として回収していましたが、現在も、なんとか有価物として回収を続けているのですが、行き先が限られて、相場が下がっている関係上、回収、選別をして、出荷するに足る有価物になっていない状況です。

今後、有価物として回収できないということになれば、今まで有価物として取り扱っていた分が一般廃棄物に含まれることになってしまいます。

また、市民の方々が利用している小型家電等の回収拠点について、中国が雑品類も輸入を禁止したため、今後もあのような回収拠点が継続して運営できるかわからない状況です。

このように、資源物の取り扱いは、中国を始めとした国際情勢に大きく左右されますので、ぜひ注目していただければと思います。

江別市の集団資源回収について、団体によってはペットボトルを回収しているかと思いますが、現在も回収を続けているのかどうかを含めて、中国の禁輸による影響があればお聞かせいただければと思います。

#### ○押谷会長

この点については、ここ数年で取り巻いている環境が大きく変化している部分ですので、今期は議論されてきませんでした。

事務局から、次期に繋げるような話があればお話しいただきたいと思います。

#### ○中村減量推進係長

まず、集団資源回収でペットボトルを取り扱っている団体につきましては、継続して回収を行っております。

中国の禁輸による影響としては、廃プラスチックが国内に滞留し、更にはポイ捨てされたものが海洋汚染に繋がるなど、日本全体で非常に大きな問題となっており、国がプラスチック資源循環戦略等の対策を進めています。

江別市といたしましても、まずは、使い捨て容器からの脱却を目指しています。マイボトル、マイカップ運動など、地道ではありますが、継続して市民への啓発を進めていこうと考えております。

現在の取り組みといたしましては、広報えべつに記事を載せ、「お買い物にはマイバッグお茶の時にはマイカップ」というスローガンで、使い捨て容器削減に向け啓発を行っております。

#### ○押谷会長

ごみの諸問題については、海洋汚染などが急激にメディアに取り上げられるようになるなど、様々な問題と絡んできますので、色々なことに意識を向けてもらいたいと思います。

他に何かございますか。

ないようですので、以上でご報告については終わります。

本日の議題としては、以上の2点の報告でございましたが、事務局から他に何かございますか。

#### ○阿部廃棄物対策課長

先程、部長からお伝えしましたが、今回の審議会をもちまして、皆様にお集まりいただく機会が最後の予定となっております。

これまで、平成29年度は環境クリーンセンターの方向性、今年度におきましては災害廃棄物処理計画について皆様にご審議いただき、ご意見をいただきまして、なんとか進めていくことができました。事務局を代表しまして、深く感謝申し上げます。

審議会については本日が最後の予定であります。皆様の任期は6月までとなっておりますので今後ともよろしく願いいたします。

#### ○押谷会長

それでは、本日の議事は終了となります。ご協力ありがとうございました。

恐らく、任期中の審議会は今回が最後になると思いますので、一言ずつ、委員の皆さんから審

議会に対するご意見等をいただきたいと思います。

○中井委員

審議会に参加させていただきまして、私も勉強になりました。

また、市の取り組みが非常に積極的で、努力されていることが感じられたので、参加して良かったと思います。

○難波委員

今回が最初で最後の参加ということになってしまいましたが、次の任期においても、参加させていただくことになると思いますのでよろしくお願いいたします。

○林倉委員

本当に2年間どうもありがとうございました。

いつも意見を出させていただくことが多かったかもしれませんが、関係する業界から参加しているの、なるべく話をさせていただきました。

次の任期は、リサイクル事業協同組合からは誰が参加させていただくことになるかはわかりませんが、また、一般の方とは違った視点で参加させていただければと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

○樋口委員

何もわからないまま参加させていただいて、貢献はできなかったと思うのですが、勉強させていただいて有り難いと思いました。

今後は、もっと色々なことに関心を持っていきたいと思います。

ありがとうございました。

○津嶋委員

任期中、長期の欠席をいたしまして、その点はお詫び申し上げます。

今回が最後ということですが、大量の人手と時間を使って作られた計画ですから、災害があるごとに更に良い方向に向かえるよう、それぞれが意識して、経験を計画に盛り込んでいくことも考えていかなければならないと思います。

それと、先程、事務局の方からのお話の中で、「他部署のことなのでよくわからない」というようなことがありましたが、市民としては、市役所を一体として見えています。他の部署に口出しできないという立場も十分承知しておりますが、ごみに関しては庁舎横断的に対応しているのだと市民に対するアピールすべきだと思いますので、適切な対応が必要だと思います。

もう1点、ごみに関しては、長期的なスタンスで、生まれてから死ぬときまでずっと考えていかなければならないのではないかと、審議会に出席させていただくようになってから考えているところでございます。

ふと思うのは、日本には麦や米の文化があり、例えば、米は食べるだけでなく、茎の部分なども利用して、草履やカップ、帽子や手袋を作り、ごみにしないという文化があります。

それは、対策ではなく、啓蒙ということになると思いますが、事務局の皆さんはそういうポストにいらっしゃいますので、他の職員の方にお話しして、また審議会の委員の皆様にも、そういうことを展開していくということも一つの心構えとして必要だと思います。

長い間どうもありがとうございました。

○神保委員

2年間どうもありがとうございました。

私たち江別女性団体協議会は、審議会の内容を役員会で皆さんに報告し、報告に対して、質問や意見を出してもらい、次の審議会でその質問や意見をお話しさせていただいています。

そのように、この2年間、審議会で廃棄物対策の勉強をさせていただき、女性協に伝えることができたことは本当に良かったと思いました。

先程、会長が民間の生ごみ処理施設ができたというお話をされていました。

私は、札幌市にある生ごみのリサイクル施設を見学させていただいたことがあります。民間でそのような取り組みを行うことは、すごく努力が必要で、決して儲かることではないと思います。

昨年の暮れによく実現できたことかもしれませんが、江別市内でそのような施設ができたということ、2年間の間で、事務局で取り上げて私たちに教えていただいたかと思っています。

すばらしい取り組みですので、よろしく願いいたします。

#### ○河瀬委員

江別消費者協会では、昨年度、食品ロス削減について一年間取り組みました。

消費者のひろばというイベントで啓発したときには、今まで知らなかったような、様々な野菜の冷凍方法等を紹介しまして、市民の方々にアピールできたのではないかと思います。

今年度は、防災に関して取り組んでいまして、アンケートを集計中なのですが、災害のために備蓄しているものの第一位が缶詰となっています。

ですが、本日、お話しを聞く中で、食べた後の缶がごみになってしまうことに気が付きました。

これから、災害用の備蓄について、ごみがあまり出ないものを考えることも良いのではないかと思います。

本日が最初で最後でしたが、ありがとうございました。

#### ○五十嵐委員

2年間ありがとうございました。

今期については、環境クリーンセンターの方向性や、災害廃棄物処理計画など、江別市の将来に関わる重要な部分に携わらせていただいたと思っています。

審議会では、全く知らなかったことや、お聞きして初めて納得できるようなことも沢山ありまして、非常に勉強になったと思っています。

ごみ問題は、人が生きている以上、必ず関係してくることなので、また機会がありましたら、勉強させていただき、意見を出させていただきたいと思います。

どうもありがとうございました。

#### ○内海副会長

私は委員としての役目を果たせたのか、いささか疑問でございます。

と言いますのも、私は民間諸団体の代表として選出されていますが、学識経験者である林倉委員のご意見は、刺さるような言葉ばかりで、本当に実感がこもっていました。

当然、直接ごみのことに携わっているからこそ、そのようなご意見が出るのだらうと思いますが、本当に勉強させていただきました。

また、市の職員の膨大な資料集め、資料作成は本当に大変な仕事だったと思いますので、職員の皆さんにも感謝を申し上げる次第でございます。

私たち民間から考えれば、江別市のために、住民一人ひとりがもう少し気を使ってごみを出す方法を考えれば、少しでもごみ量を削減できるのではないかと、これをあらためて感じさせられました。私たちも民間として、住民の皆様にも少しでも啓発できればと思います。

大変ありがとうございました。

○押谷会長

皆さんからご意見をいただきまして、どうもありがとうございます。

先程、五十嵐委員からもありましたように、今期はクリーンセンターの方向性、あるいは災害廃棄物処理計画など、私たちの身の周りの様々な問題について考えてきました。

しかし、この2年間で、新たに廃プラスチック問題や、食品ロスの問題などが大きく取り上げられてきており、ごみの問題は、日々、新しい問題が出てくるのだということをあらためて実感しております。

ごみの問題は、私たちの身近な問題でございますので、今期においても、私たちは様々な審議をしてきましたが、審議委員にはこの内容を市民の方々に伝える役目もあると思っていますので、これから取り組んで参りたいと思っております。

2年間どうもありがとうございました。

それでは事務局にお返しします。

**【閉会】**

○阿部廃棄物対策課長

押谷会長、ありがとうございました。

皆様におかれましては、本日はご多用の中、お集まりいただきまして、あらためましてお礼申し上げます。

今後とも、本市の清掃事業の推進に対しまして、ご理解とお力添えをお願い申し上げますとともに、今後の皆様のご健康とご活躍を祈念申し上げます、第4回江別市廃棄物減量等推進審議会を閉会させていただきます。

本日は誠にありがとうございました。